

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」  
～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- ① 授業規律の共通理解・共通指導
- ② 授業の質の向上（教員の指導力向上・研修の充実）
- ③ 授業で「主体的」「対話的」な活動の重視

＜本年度の学力向上策＞

- 1 学校運営の重点  
児童に目標をもたせ、成功体験を積ませる方策を工夫し、存在感・充実感・達成感が味わえる教育活動を充実することで、児童一人ひとりが「夢や希望」を抱き、「自信と誇り」をもてる教育を推進する。（学校経営案より）
- 2 教科指導の視点から  
「自ら学ぶ力（姿勢）は、社会で生き抜くために、重要な要素であることを児童が理解できるようにし「進んで学習」する子を育てる。（学校評価のまとめより）」ことを全教員が念頭におき、日々の学習指導の工夫改善に努めている。  
少人数担当及びスクールアシスタントが主に算数科の指導に入り、個別に支援が必要な児童を中心に指導する。
- 3 小中一貫教育の取組から  
学力の向上やいわゆる「中1ギャップ」の緩和のために、義務教育9年間連続した期間ととらえ、一貫性のある学習指導や生徒指導の推進を目指す。（市教委より）  
具体的な取組として、今年度は中学校社会科担当教諭と第6学年の社会科に週1.5時間ずつT.Tの授業形態で実施する。また、中学校英語科担当教諭が第6学年のGSに週1時間ずつ入り担任やG・S専科とともに授業を実施する。授業では、より中学校教諭の専門的な知識やスキルを生かした導入などを実施する。  
また、学力のベースとなる生活習慣や授業での規律やルールなどについても協議し、小・中での共通指導事項として徹底を図りたい。
- 4 各学力に関する調査等から  
全国学力・学習状況調査と市学習状況調査の結果を分析し、児童の実態を把握し、指導に生かす。

＜本年度の振り返り＞